

流すまえに考えて

10月は
クリーン排水月間です



海は、地球上の生物の生命の源であり、海を汚さないようにすることは、自然の生態系をバランスよく維持するうえで、とても大切なことです。

環境課 ☎66♦1122

私たちの身近にある三河湾も、海の底にたくさんのごみやヘドロがたまっていきます。ヘドロの主な原因には、次のことがあげられます。

- ① 生活排水や工場排水などによって、栄養分を多く含む海になってしまったこと。
- ② 海の干潟や浅場が埋め立てによって失われ、自然の浄化力が弱まったこと。

海の浄化対策として、公共下水道の整備や合併処理浄化槽を設置することが重要です。しかし、私たち一人ひとりが、ライフスタイルを少し変えることで、海や川をきれいにすることができるのです。

ほんのわずかな気づかいとは



食器についた油污れや食べかすは、一度ふき取ってから洗いましょう。汚れが海や川に流れずすみ、洗う水や洗剤の節約にもなります。

台所で

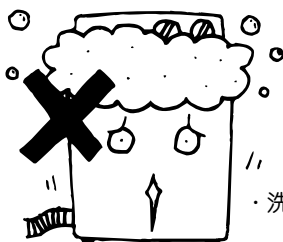
・生ゴミは三角コーナーや排水口でキャッチする



洗濯で



・油はこして再利用する



・洗剤を使いすぎない

ほんのわずかな気づかい

例えば、食べ残しの小皿のしゅう油を流すと、魚が住める水質にするためには、浴槽1.5杯半分の水が必要です。1杯のみそ汁を流すと浴槽約4杯分の水、コップ1杯の牛乳では浴槽12杯分もの水が必要です。

家庭で洗いをする前に、流し

た汚れがどうなるのか、考えてみましょう。ほんのわずかな気づかいをすることで、海に流す汚れは減ります。一人ひとりが、環境を考えた生活を実行すれば、それは大きな効果を生み、海は必ず美しい姿を取り戻します。

毎日の生活の中で、小さなことでも環境にやさしくできることを、実行してみませんか。